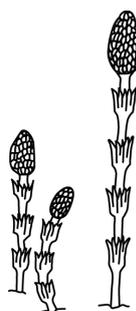


佐事研だより

佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 森 清隆



会員各位

会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。先日の天気予報の「桜の開花情報」では、今年も例年より早いということです。年度末を迎え、各予算の決算事務、卒業式、人事異動事務等様々な学校事務が控えています。佐事研だよりも、本年度は本号をもって最後となります。1年間のご愛読ありがとうございました。

平成14年度 第2回理事会について(要旨)

佐賀県公立小中学校事務研究会・第2回(実質第6回)理事会報告

期日：平成15年3月7日

場所：アバンセ 13:30～

1. 佐事研及び各専門部の活動報告と反省について

- ・各専門部長より平成14年度の活動概要と、今後の課題についての報告がありました。
- ・佐事研会計の帳簿及び予算執行状況簿の理事会回覧により、適切な予算執行がなされていることを確認しました。
- ・佐事研HPについては、リニューアルし、現在1200件を越すアクセスがあります。
- ・佐事研セミナーの質疑応答記録集をHPに掲載しているので、各地区理事より会員の皆さんへ紹介してください。また、各地区理事にてHP上で読むことのできない会員へは、増刷して配布することも検討してください。(各理事には印刷物を配布しております。)

2. 佐事研セミナーについて

- ・参加者236名(会員195名、会員外41名うち校長等事務職員外18名)
時期的なものも考えられるが、会員の参加率の低下が心配されます。(今回76%)

3. 全事研評議員会報告(H15.2.24 於：芝弥生会館)

佐事研からは、会長及び事務局長がオブザーバーとして参加し、現在佐賀県では、各地区にて全事研加入の是非について論議中であるという近況報告をしてきました。また、次回の全事研山口大会(H15.8/6～8/8、萩市)は、佐賀県内からも多くの参加が予想される為、250部の大会要項送付の希望を出します。

共同実施について

平成14年5月から東松浦郡玄海町で「加配無しの共同実施の研究」が行なわれています。地区研のなかでの研究発足ですが、県教委からの指定という形からではなく、このような学校現場からの自発的な研究がより広がってほしいという意見がありました。

4. 佐事研ビジョンの取り扱いについて

アクセス！ (<http://www.saga-ed.go.jp/materials/SAJIKEN/>)

(1) 研究部・研修部の役割分担について

佐事研ビジョンの情勢の考え方及びこれまでの活動の経過により、研究部の改組を中心とした佐事研の組織編成及びその役割についての具体的な提案が、研究部長よりありました。

簡単な概略は以下のとおりです。

・佐事研ビジョン実現のため、会長直属の『特別委員会』を設置し、佐事研の研究体制を研究部・研修部・調査広報部とあわせた構造とする。特別委員会は、市町村合併にむけての学校事務における具体的提言及び、職位・人事交流・研修制度等の研究を担当する。

・研究部の現5班編成を4班編成にする。(教育課題改革・職務規定・マニュアル・情報)

・パソコンソフト開発については、事務局に担当者を置き、会員への普及に重点を置く。

・県教委のなかに(仮称)学校事務検討委員会を発足させるよう要請をし、佐事研ビジョンの具現化にむけた条件整備を進めていく。

(2) 全事研加盟について

各地区理事にて、情宣及び説明・意見集約をお願いし、的確な情勢を把握した後、次回大会で佐事研としての方針を打ち立てたいと考えています。具体的には、「会費1000円の値上げで、佐事研全体で全事研加盟をする」というのが常任理事会の意向です。詳しい話を聞きたい地区研については、会長等常任理事が直接出かけて説明をさせていただきます。また、全事研加盟のための別組織の立ち上げや一部の地区のみの加入などは一切考えていません。

5. 14回大会について

期日：平成15年6月5日(木) 会場：アバンセ

講演：宮崎県教育委員会教職員課 給与係長 日渡 円 氏

「平成18年度の公務員制度改革(仮題)」

市町村合併問題について(県市町村課より)

総会(役員選出、組織編成による会則改正及びそれに伴う方針の提案等)

第1回理事会・・・平成15年4月24日(木)

第1回理事研修会(第2回理事会)・・・平成15年5月16日(金)

大会要項の原稿締切日となります。特に各地区選出の理事、専門部員等については、必ず年度当初の各地区研修会で話をしていただき、メンバー表が出来次第、事務局業務担当次長へFAXにてお知らせください。最終締め切りは5月21日です。

6. 平成15年度活動計画

・研修部はテーマ別研修会を3領域4講座開講予定。

また、会員の皆さんには、研修部運営への積極的な参画と、講師についてもぜひ推薦をお願いします。

7. 平成15年度役員体制について

・各地区研修会で選出をしてもらう調査広報部員、研修部員については、小人数の地区研では無理に出さなくても良いが、偏らないように配慮をお願いします。

・研究部員については部長から出された研究部改組(案)を理事会にて提案し、若手育成を念頭におきながら、構成していきたいと思うので、地区から選出は必要ありません。

アクセス! (<http://www.saga-ed.go.jp/materials/SAJIKEN/>)

・監査（三神・佐城）、総会議長（東松・杵西）の選出については、担当副会長より5月21日までに業務担当副部長までご連絡下さい。

8. 平成14年度監査について

日程・場所とも決まり次第、関係の方へ連絡いたします。（4月初旬予定）

??? 埼玉県東部小中学校事務研究大会に参加して ???

北方中学校 寺尾裕司

2月の肌寒さが残る中、埼玉県の春日部市で事務研究大会が開催されました。進行はプレゼンテーション方式で行われ、女性中心で進められたのが目立ったと思います。

中身は、第7次定数改善の定着を目指してといったテーマで、現在の国の厳しい行財政計画が行われている中において平成13年度よりの定数改善についての正確な捉え方を研究することによる共同実施との関わりについての発表があり、埼玉県では定数改善計画を受けて13年度9名、14年度17名の加配があったそうです。この17名の加配は全国で3番目に多いのが注目に値すると思います。これまでの上からの文書では、「事務処理の効率化・集中化を図るため、地域のセンター校的な役割を担う学校や学校間連携を伴う地域情報化の拠点校として、教育の情報化への対応を行う学校」が加配対象と謳われていますが、目的が抽象的であり、見方によっては「情報化」云々の文言から、いわゆるコンピュータ加配と混同されかねず、実際にアンケート形式で行われた加配を受けた県内の事務職員の状況でも加配がどのような仕組みで行われているのか、どのような形態で行われているのか十分な情報は伝わっていなかったそうです。また加配の申請をどのようにして行ったかに関しても、事前に事務職員まで通達がなされておらず、教育委員会独自で申請をして加配を受けた学校もかなりあったそうです。その他、市費職員が引き上げになり、県費事務職員一人では事務量が多く加配申請をしたところや、各市や町のオンライン化により予算及び備品台帳等のすべてについて学校で処理することになり、事務量が増加するため委員会から加配の話があり採用に至ったところ、加配の職員（臨時職員）がついたのちすぐ異動してしまい、後から来た人が状況等何もわからなかったところ、加配申請の方法についても文書だけではなくインターネットで申し込みが出来るところ等々、我が県とは幾分状況が違う所があるなと思いました。その後、他県の共同実施の状況（大阪府守口市・宮崎県佐土原町）が説明され、どちらにも共通しているのは、拠点校を中心とする支援校どうしのネットワークの構図がしっかり確立されており、学校どうしだけでなく、県・市町村間との連絡が密であり、事務主査・主幹の果たす役割が明確にあることなどが述べられました。埼玉県の加配を受けた事務職員の感想では「平成13年度から試行的に加配を受けたが、かん口令がひかれ、半ば上からの指名だった。次の14年度でも他の事務職員に知らされることなく行われ、私個人としては、時間的な経過も入れて、取り残された思いである。情報が入ってきた時にいかに対応できるかをもう少し考える時間があればよかったのだが、受け身にまわってしまった。・・・」との意見を述べられました。先述しましたが、市費職員の引き上げのかわりの穴埋め的な加配といい、埼玉県内では、組織的・計画的な共同実施＝定数改善による加配はあまり今までできていなかったのかもしれない。

我が県でも年々あちこちの市町村で共同実施がなされていますが、これら他県の状況を十分に把握しつつ、混乱のないよう適正に行われるべきであると思いました。

ここだけの話 !!

以前にも、便利な情報として色々な話が掲載されてましたが、県外出張する際に、旅行用のバック等で申し込む以外に、インターネットで旅館、ホテルの予約をするやり方があります。1～3月は特に大学受験などで大都市は混雑し、電話ではなかなか予約が取れないことが予想されますので使ってみるととても便利です。パソコンの画面上で空室の有無しから、旅館の場所や旅館までの交通アクセスの情報、お得な特定パックプランや予約までできます。以下に紹介するサイト名は登録された旅館、ホテルの数も多く全国的な規模で展開されてますので必ず役に立つと思います。(なお、サイトによっては事前に個人の登録をするものがあり、学校ではやりづらいものがあるかもしれません。)

主な旅館, ホテル予約サイト

日本旅行 旅なび

約5000軒の宿泊情報を検索できる。その内約3000軒は空室照会、予約が可能。ホテル、旅館から国民宿舎・ペンションまで幅広い。iモード版もある。

<http://www.nta.co.jp/syuku/nihon/>

旅の窓口

定番サイト。国内外のホテルのほか、温泉宿も予約できる。ホテル周辺の地図を表示したり、利用者の投稿があるなど、充実している。航空券予約や観光情報もある。

<http://www.mytrip.net/>

JTB国内宿泊

ホテル、旅館を対象にした日付を指定してエリアを選べるほか、ビジネスホテル検索やお得なプランでも検索可能。ホテル、旅館の利用に役立つコラムもある。

<http://jtb.co.jp/sp/>

社団法人 日本ホテル協会

都道府県別一覧や利用目的別に選べるほか、細かい条件で検索・予約できる。「利用目的別検索」ではチャペルやプールの有無, オンライン予約できる、などの細かい条件で検索可能。

<http://www.j-hotel.or.jp/>

ベストリザーブ

最寄路線(駅)からの距離などから利用者にとって最適な施設を提示する「ベストホテル選択機能」をはじめ、検索条件が豊富。ビジネス利用には使いやすい。団体予約・前日割引・ポイント制度もある。他サイトとの比較も掲載し、自信のほどが伺える。格安航空券+ホテル予約の「ベストエアーアンドホテル」もある。

<http://bestrsv.com/>

上記の各サイトともかなり細かく枝葉に分かれていますので、一度「YAHOO, JAPAN」などで調べてみるとよいでしょう。

ちなみに私は、やど上手を利用しています。

1年間のご愛読ありがとうございました。 佐事研調査広報部一同

アクセス! (<http://www.saga-ed.go.jp/materials/SAJIKEN/>)